

<別添様式 4>

平成 25 年生活扶助基準改定に関する最高裁判決を踏まえた
保護費の追加給付に係る申出書

野田市福祉事務所長 殿

①

申出年月日	202●年 ●月 ●日
現住所	野田市鶴亭7-1
氏名	野田 太郎
電話番号	090-●●●●-●●●●

平成 25 年 8 月から令和 8 年 3 月までの期間について、下記のとおり、相違ないため、追加給付に係る必要書類を添えて申し出ます。

記

1. 世帯構成（平成 25 年 8 月から令和 8 年 3 月までの期間において、保護を受給していた世帯員すべてを記載してください。申出日時時点で死亡している世帯員については「死亡」欄に○をしてください）

②

（フリガナ） 氏名	世帯主 との続柄	生年月日	生活保護受給期間 （年 月 日）	死亡 （申請日の 時点）
ノダ タロウ 野田 太郎	世帯主 本人	1985 年 4 月 2 日	2013 年 8 月 1 日～ 2025 年 5 月 29 日	
ノダ ハナコ 野田 花子	妻	1985 年 5 月 2 日	2013 年 8 月 1 日～ 2025 年 5 月 29 日	
ノダ キョウタロウ 野田 忠太郎	父	1945 年 6 月 3 日	2013 年 8 月 1 日～ 2024 年 3 月 21 日	○
ノダ ハジメ 野田 元	子	2005 年 1 月 4 日	2013 年 8 月 1 日～ 2025 年 5 月 29 日	
		年 月 日	～	
		年 月 日	～	
		年 月 日	～	
		年 月 日	～	

※ 本申出は、申出先の自治体で保護を受給されていた期間の世帯主が行うものとなります。世帯主が現在死亡されている場合は、留意事項の※2を参照してください。

※ 申出先の自治体で保護を受給されていた期間について、記入してください。
（他の自治体で保護を受給されていた期間がある場合は、別途その自治体へ申出が必要となります。また、申出先の自治体で複数回保護を受給されている場合は、それぞれの期間ごとに申出が必要となります。）

※ 「生活保護受給期間」について、大学就学等により、世帯分離となっている期間を除いてください。

次ページへ続く

【①について】

申出は原則生活保護を受給していた当時の世帯主が行ってください。

申出日時時点で当時の世帯主が死亡している場合、ご存命の方のうちの以下の順位で最も優先順位の高い方が申出書の現住所及び氏名を記載してください。

当時保護を受給していた①配偶者（届出をしていないが、事実上婚姻関係と同様の事情にある者を含む。）、②子、③父母、④ 孫、⑤祖父母、⑥兄弟姉妹、⑦曾孫、⑧甥姪又は⑨①～⑧以外の世帯員。

なお、同順位の方が複数いる場合は、代表する方が申出を行ってください。

本申出書について、世帯主の方が記載困難等特段の事情がある場合は、世帯主以外の方による代筆が可能です。申出権者による申出が困難な場合で、代理人が申出するときは、別途委任状を添付してください。（法定代理人の方は委任状不要。）

【②について】

・受給期間が複数ある場合は、受給期間ごとに申出書を作成してください。世帯主の変更や世帯員の増減が発生した場合の記載方法については野田市生活支援課給付担当へお問い合わせください。

・受給期間について、わかる範囲で記載をお願いします。受給期間が不明な場合でも野田市生活支援課へ問い合わせる必要はありません。本人確認が出来る場合には市の保有するデータで算定します。

・受給期間中の世帯構成で申出書を記載してください。

・受給期間中に氏名の変更があった場合、複数欄を用いて、変更前、変更後の氏名を記載するとともに、同一人物であることがわかるように続柄欄に続柄を記載の上「●●と同一」と記載してください。

③ 2. 保護を受給していた当時の居所（選択肢をチェックしてください。）

申出先の自治体で保護を受給されていた期間の居所が、

☐ 現住所と同じ

☒ 現住所と異なる（異なる場合は以下の「当時の居所」及び「期間」を記載願います。）

※複数の居所がある場合は、追加で記載願います。

（当時の居所）野田市東宝町花 237-1

（期間）2013 年 8 月 1 日～ 2023 年 8 月 1 日

（当時の居所）

（期間） 年 月 日～ 年 月 日

（当時の居所）

（期間） 年 月 日～ 年 月 日

※ 居所には、当時住んでいた場所を記載ください。

④ 3. 振込先口座

以下の記入に加え、これらの口座情報が確認できる通帳等の写しを添付してください。

（フリガナ） 口座名義	金融機関名	支店名	口座種別 （普通/当座）	口座番号
<u>ノダ タロウ</u> 野田 太郎	〇〇銀行	△△支店	普通	9876543

※ 振込口座の名義は、申出者本人名義のものに限ります。

⑤ 4. 申出者以外の世帯員の連絡先（複数人世帯の場合）

複数人世帯の場合は、申出者へ連絡がつかないときの連絡先（他の世帯員）を記載してください。申出内容の確認等のため、必要に応じてご連絡することがあります。

他の世帯員の氏名 野田 花子

電話番号（携帯または自宅） 080-●●●●-●●●●

【③について】

本人確認及び追加給付額算定のため記載をしてください。

なお、当項目に当時の居所及び期間のどちらも記載できない場合等は、受給期間の確認が困難であることから、該当する期間の分は不支給となることがあります。

【④について】

ゆうちょ銀行は8桁、それ以外の銀行口座については7桁の口座番号を記載してください。

【⑤について】

原則申出者に連絡をいたしますが、申出者へ連絡がつかない場合に連絡することがあります。当時受給世帯の世帯員の方の日中連絡可能な連絡先を記載してください。

記載例

⑤ 5. 加算等の申出

当時の最低生活費の確保のため、申出者及び世帯員について、該当する加算等を記載してください。（該当がない場合は、記載不要。）

※ 加算等の該当がある場合は、併せて年証資料を提出してください。なお、年証資料の提出がない場合であっても申出書を受け付けられますが、加算等について算定ができない場合があります。

申出に係る加算等の種類	該当する内容 (平成25年8月から令和8年3月までのうち、 該当がある場合に記載ください。)	年証資料 の有無
⑥ 入居患者 日用品費	氏名：野田 太郎 期間：2013 年 8 月～2014 年 7 月 (医療機関名：) 氏名： 期間： 年 月～ 年 月 (医療機関名：) 氏名： 期間： 年 月～ 年 月 (医療機関名：)	—
⑦ 救護施設 等基本生 活費、介護 施設入所 者基本生 活費等	氏名： 期間： 年 月～ 年 月 (施設名：) 氏名： 期間： 年 月～ 年 月 (施設名：) 氏名： 期間： 年 月～ 年 月 (施設名：)	—
⑧ 障害者 加算	氏名：野田 太郎 期間：2015 年 1 月～2025 年 5 月 氏名： 期間： 年 月～ 年 月 氏名： 期間： 年 月～ 年 月	年証資料 有無 手帳、障害者 年金証書、特別 児童扶養手当 受給証明書、 福祉手当 決定通知書 ※上記資料 がない場合は、 自治体 福祉課 手帳、障害手 帳、又は 障害者加算 に関する 関係決定 書

※ 複数の該当期間がある場合は、適宜追加で添付に記載ください。 ※ 表ページへ転送

記載上の注意点

【⑥について】

死亡した世帯主または世帯員については「5. 加算等の申出」の記載は不要です。

【⑦について】

- ・ 期間、医療機関名、施設名はわかる範囲で記載をお願いします。
- ・ 不明な場合でも野田市生活支援課や各医療機関・施設へ問い合わせる必要はありません。本人確認ができる場合には市の保有するデータで算定します。

・ 提出された挙証資料と市データに相違があった場合、確認のため連絡することがあります。

※ 挙証資料の添付がない場合は、市の保有するデータで算定します。

【⑧について】

- ・ 加算状況はわかる範囲で記載をお願いします。

不明な場合でも野田市生活支援課や相談窓口へ問い合わせる必要はありません。本人確認ができる場合には市の保有するデータで算定します。

- ・ 提出された挙証資料と市データに相違があった場合、確認のため連絡することがあります。

※ 挙証資料の添付がない場合は、市の保有するデータで算定します。

記載例

申出に係る加算等の種類 [※]	該当する内容 [※] (平成25年8月から令和8年3月までのうち、該当がある場合に記載ください。) [※]	挙証資料の例 [※]
母子加算 [※] 「(当時、ひとり親世帯の期間があり、母子加算が算定されていた)期間を記載してください。」 [※]	氏名： [※] 期間： 年 月～ 年 月 [※]	児童扶養手当の証書・通知書 [※] または [※] 母子加算の決定に関する保護決定通知書 [※]
妊産婦加算 [※] 「(当時、妊産婦の期間があり、妊産婦加算が算定されていた)期間を記載してください。」 [※]	氏名： [※] 期間： 年 月～ 年 月 [※]	母子健康手帳 [※] または [※] 妊産婦加算の決定に関する保護決定通知書 [※]
在宅患者加算 [※] 「(当時、在宅患者加算が算定されていた)期間を記載してください。」 [※]	氏名： [※] 期間： 年 月～ 年 月 [※]	結核治療に係る書類 [※] または [※] 在宅患者加算に関する保護決定通知書 [※]
放射線障害者加算 [※] 「(当時、放射線障害者加算が算定されていた)期間を記載してください。」 [※]	氏名： [※] 期間： 年 月～ 年 月 [※]	被爆者健康手帳、原爆症認定に係る書類 [※] または [※] 保護決定通知書 [※]
未成年者控除 [※] (20歳未満控除) [※] 「(当時、20歳未満で、就労収入があり、未成年者控除(20歳未満控除)が算定されていた)期間を記載してください。」 [※]	氏名：野田 亮 [※] 期間：2021年4月～2025年5月 [※] 就労先：野田市鶴幸5-1 [※] 〇〇 野田店 [※]	20歳未満の就労に係る給与明細、過剰戻金(就労収入の状況が分かるもの) [※] または [※] 20歳未満控除に関する保護決定通知書 [※]

※複数回の該当期間がある場合は、適宜、追加で空白に記載ください。[※]

申出書の記載内容は以上となります。[※]

記載上の注意点

【⑨について】※⑧と同様

- ・加算状況はわかる範囲で記載をお願いします。
不明な場合でも野田市生活支援課や相談窓口へ問い合わせる必要はありません。本人確認ができる場合には市の保有するデータで算定します。
- ・提出された挙証資料と市データに相違があった場合、確認のため

連絡することがあります。

※挙証資料の添付がない場合は、市の保有するデータで算定します。

【⑩について】

- ・就労期間・就労先はわかる範囲で記載をお願いします。
不明な場合でも野田市生活支援課や就労先等へ問い合わせる必要はありません。本人確認ができる場合には市の保有するデータで算定します。
- ・提出された挙証資料と市データに相違があった場合、確認のため

連絡することがあります。

同意書

←

←

平成 25 年生活扶助基準改定に関する最高裁判決を踏まえた保護費の追加給付の決定のため、貴福祉事務所が官公署、日本年金機構等（以下「官公署等」という。）に対し、必要な書類の閲覧若しくは資料の提供を求めることに同意します。←

また、貴福祉事務所の調査又は報告要求に対し、官公署等が報告することについて、私等同意している旨を官公署等に伝えて構いません。←

←

←

←

⑪←

	202●年 ●月 ●●日←
住所	野田市錦奉 7-1←
氏名	野田 太郎←

【⑪について】

- ・ 申出書提出年月日と同日で記載してください。
- ・ 申出者の住所と氏名を記載してください。

【申出に当たってのチェックリスト】

① 申出書に添付する書類

下記が全て添付されているかチェックの上、申出をお願いいたします。

（電子申出（マイナポータル等）の場合は写真を添付、郵送の場合は写しを添付願います。）

【必ず提出いただく資料】

① 以下のいずれか一つ（申出者の本人確認書類）

※ マイナンバーカードの写し（表面（番号の記載がない面）、運転免許証の写し、
在留カードの写し、障害者手帳の写し、パスポートの写し等の身分確認書類など）

② 全世帯員の戸籍謄本の写し（全部事項証明書）

※ 原則として、発行から3か月以内の戸籍謄本を添付してください

※ 当時の姓が現在の姓と異なる場合は、併せて、当時の姓が記載された

戸籍謄本を添付してください

※ 離婚等によって、当時の世帯員が申出者の戸籍から除籍となっている場合、

申出者において戸籍の第三者請求により、除籍となった世帯員の現在の戸籍謄本
を請求することができます

※ 保護受給中の場合は、戸籍謄本に代えて保護受給証明書によることも可

※ 以下、戸籍謄本の提出を要しない場合があります

・ 電子申出（マイナポータル等）において存否確認等ができる場合であって、

追加給付の対象期間において継続して単身世帯であった場合

・ 追加給付の対象者が、申出先の自治体の窓口に来所して本人確認が取れた場合

③ 外国人の場合は、全世帯員の住民票の写し

※ 原則として、発行から3か月以内の住民票を添付してください

※ 保護受給中の場合は、住民票に代えて保護受給証明書によることも可

※ 以下、住民票の提出を要しない場合があります

・ 電子申出（マイナポータル等）において存否確認等ができる場合であって、

追加給付の対象期間において継続して単身世帯であった場合

・ 追加給付の対象者が、申出先の自治体の窓口に来所して本人確認が取れた場合

④ 申出者本人の「コ.預払口座」記載の口座情報が確認できる預貯金通帳の写し、

または、キャッシュカードの写し

⑤ 同意書（追加給付に当たって必要な調査に係る同意）

【必要に応じて提出いただく資料】

① 「コ.加算等の申出」で必要とされる学歴資料

② 代理による申出を行う場合は、委任状、身分確認書類、本人との関係を証する書類

② 記載事項

下記をチェックの上、申出をお願いいたします。

① 申出者が保護受給当時の世帯主（当時の世帯主が死亡している場合は、

当時の世帯主に準ずる者）となっているか

② 申出先の自治体で保護を受給されていた期間の世帯員が記載されているか

（当該期間に世帯内にいない方については、追加給付の対象外となります）

③ 預払口座が申出者本人の名義のものとなっているか

④ 加算等の該当がある場合、該当する方の氏名や該当期間が記載されているか

⑤ 居住地が記載されているか

【⑫について】

・ 申出書を提出する前に、チェック欄を活用し、提出漏れ・記載漏れがないよう確認してください。

・ 法定代理人の方が申出する場合、委任状は必要ありません。

【添付書類に係る留意点】

・ 提出する戸籍謄本は原本・コピーともに受付可能です。

・ 第三者請求について

第三者請求とは本人や同一戸籍（または住民票）に属する人以外の第三者（個人や法人）が、他人の戸籍謄本や住民票の写しなどを市区町村の窓口請求できる制度です。

第三者請求をする場合、野田市では本人確認書類のほか、交付請求に対して正当な理由を示す疎明資料（契約書、申請書類等）の提示、または提出が必要です。

・ 刑務所入所者は戸籍謄本に代えて在所証明書でも受付可能です。